

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

全国会議ニュース



2024年1月5日発行 (No.31) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

<https://www.f-zenkoku.net/>

謹賀新年



2024年1月
社会福祉経営全国会議
会長 茨木範宏

新年おめでとうございます。

昨年はい員の皆さまには全国会議のとりくみに参画いただきありがとうございました。また関係者の皆さまにはご支援いただき感謝いたします。

このたびの元日に起きました能登半島地震により被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興を願いますとともに、全国会議としてできる限りの支援を行いたいと思います。

昨年末から明らかになった自民党の裏金問題には憤

りが収まりません。社会福祉の予算を削減し、サービス給付を抑え、利用者にも福祉事業者にも苦難を押しつける政治の転換を今こそ実現しなければ、この国の未来は見えません。またガザやウクライナへの侵攻で起きている命と人権の蹂躪に、福祉で働く我々は黙っては

られません。全国会議は、2024年も会員の皆さまと共に、これらの課題に声をあげ続けるとともに、権利を守る社会福祉事業の継続と発展のため活動してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

第2回 全国福祉経営研究交流会 in 関東に

多数ご参加いただきありがとうございました。

社会福祉経営全国会議 事務局長 堤昭子



◆全国から400名を超える参加がありました！

全国から横浜会場に 200 名、オンラインに 200 名を超える方々が集う交流会となりました。本音で語り合い、つながりあい、学びあえた二日間となりました。

この交流会成功に向けてご尽力いただきました全ての皆様に心より御礼申し上げます。

◆すべての人を大切にする社会の実現を 大会アピール文を採択！

交流会最後のアピール文で「私たちには人を大切にする方向に社会を進歩させる役割があります。対等平等を基調とした目の前のひとつひとつの実践を大切に、あらゆる人権保障の取り組みに共同し、学

びと共同を力にして、仲間を増やし、実現できる力を身につけましょう。

信頼と団結の輪を広げ、個と集団の発達が、社会の発達につながるよう努力を続けましょう。」と結びました。

◆学びと連帯を糧に

次回、九州での大会でお会いしましょう

日々の社会福祉をめぐる情勢や福祉経営は厳しさを増していますが、皆さまとともに学び・連帯ができたこの力を明日からの糧にしていきたいと思ひます。

2年後の九州交流会でまたお会いできることを楽しみにしています。



オンライン参加と共に、200名を超す参加者が全国から会場に集まりました。大会の「アピール文」は別紙に掲載しています。

社会福祉経営全国会議

「第1回 養成校懇談会」開催！

社会福祉法人 大阪福祉事業財団 児童養護施設高鷲学園 岡出 多申

2023年12月13日に開催した養成校との懇談会は、54名の方の参加を頂き、大変有意義な時間を共有することができました。

当日を迎えるにあたっては、養成校の先生にも参加して頂きながらの実行委員会を開催し、準備を行いました。当日は、立正大学の新井先生が養成校の現状を報告くださり、法人側からは緑の丘福祉会の保母さんが「夢かなひろば」について報告くださいました。

今回、この懇談会を通して、事業所の人材確保の課題は養成校でも同様に頭を抱える問題となっていることを知る機会となりました。福祉を目指す学生が、年々減少傾向にあり、福祉の魅力が十分に伝わっていない現状を、共に考え発信していくことが大切だということを知ることができました。このことから、「夢かなひろば」に繋がることのできる流れを、この先2回、3回と積み上げていくうえでしっかりと確立していきたいと思いません。



立正大学の新井先生から、養成校の状況報告のご説明をいただきました。また、福祉現場の厳しい実態や人材確保・育成への思いが語られました。

主催：一般社団法人 社会福祉経営全国会議

就職フェア・夢をかなえる福祉のひろば

「福祉の仕事の魅力を伝えたい」「はたらく」魅力を伝えたい
「あなたを待っている社会福祉法人があることを伝えたい」
そんな思いで企画をしました。

「第1回就職フェア・夢をかなえる福祉のひろば」

■開催日：2024年3月10日（日）10:00～12:05

■開催方法：オンライン（ZOOM ミーティング）

■今回の開催重点目的：

- ・福祉の仕事の魅力を伝える機会とする
- ・働くイメージを持てるような機会とする

■参加対象：学生、福祉への転職を考えている方、
保護者、養成校関係者等々、どなたでも

■内容：第一部、第二部、第三部

第一部 10:00～10:30 全体会 「ようこそ！夢をかなえる福祉のひろばへ」

オープニング、主催者あいさつ、障害・高齢・保育からスピーチ

第二部 10:30～10:55 福祉の仕事や魅力紹介コーナー「福祉の仕事ってどんなこと？」

職員劇で考えてみよう、職種別リレートーク

第三部 11:00～12:00 地域別法人紹介・なんでも相談コーナー ※ルームを選んで自由に訪問

「福祉職場の人と話してみよう！聞いてみよう！」

▲会員法人の紹介ができます。ルーム（ブース）出展の申し込みを受け付け中です。

12:00～12:05 全体会 お礼とお知らせ

■参加定員：300名

■申込受付：2024年1月～3月開催日まで（申込フォームにて）

参加申込みは下記から

◆学生・参加希望の方申込フォーム

<https://forms.gle/Rs2zddHS25NvbUHRA>



◆会員法人、「第3部ルーム(ブース)出展

申込フォーム

<https://forms.gle/sLtQvqkva2vqoJQk6>



「夢をかなえる福祉のひろば」Instagram

投稿について

「夢かなひろば」で『インスタ』で会員の皆様をご紹介したい
と思います。法人様の紹介情報を事務局までお寄せください。

◆Instagram記事の投稿日は

毎週水と金の週2回投稿です。

送付期限は投稿日の前日まで。

詳しくは事務局までお尋ねください。



労務管理研修会(会員限定)

日時/2024/1/17 13:30～16:30

場所/オンライン(ZOOM ミーティング)

内容/ハラスメントとは、予防と対処

パワハラのない職場づくりとは

講師/弁護士 西川大史氏

受講料/ 会員のみ 4000円

指定の口座に振り込みで

申し込み/右のQRコードから



第2回全国福祉経営研究交流会 in 関東 閉会にあたって～参加された皆さんへ～

私たちは、2023年12月7日8日、第2回全国福祉経営研究交流会 in 関東を横浜で開催しました。

開催地の神奈川の皆さん、準備や企画に関わってくださったみなさん、分科会の報告を引き受けていただいたみなさん、参加していただいたすべてのみなさんに感謝します。ぞうれっしや感動でした。

社会福祉経営全国会議の主催になって第2回の本交流会では、30年続いた東海近畿の分野を超えた交流の取り組みを、はじめて東海近畿の外に出し、関東から全国に広がる取り組みにできたこと、関東で分野を超えた共同の取り組みが広がったことに大きな意義があると確信しています。

次の開催地は九州に決まっています。「関東でできたのだから」は、ずいぶん九州の人たちを安心させていると思っています。

実行委員会には、関東から22法人38名が参加しました。東海近畿から12名、東北から2名、全国会議の企画委員や事務局から7名が参加しました。東海近畿の皆さんにはこれまでの集会で積み上げてきた大切なことを教えていただき終始準備を支えていただきました。分野を超えた日常のつながりが弱かった関東では、実行委員会そのものが分野や地域を超えて「つながっていること」を実感できる貴重な体験になりました。それぞれの準備を気持ちよく分担して、信頼が生まれ、みんながずいぶん仲良くなれたと思っています。実行委員会に参加できなかった関東の仲間からは、「仕事が本当に忙しくて参加できない。」「経営は本当に厳しくいつまで続けられるかわからない。」という声があり、実行委員会の中でもそういう論議をしていると伝えると、少し安心したようでした。みんなが同じような問題を共有する福祉の危機は足元にあります。

社会は、本当に悪くなっています。

政治は、自助を強調し、競争と格差を是とする社会の中で、福祉は脆弱で、複雑で不安定になっています。経営は厳しくなり、しかも、改善の兆しが見えません。

福祉の経営難と人手不足は分野に共通して深刻で、ぎりぎりに持ちこたえていた「事業」や取り組みが壊されていくのを目の当たりにしています。様々な場所で本来仲間である人たちの要求がぶつかり、対立関係にあるかのように見せられています。少なくない職員がくたびれてやりがいを見失いかけています。いろいろな問題が氷山のようにあります。国や行政は何度交渉しても、ほとんど何も改善しないようになっています。現実の問題を提起し国民の福祉の水準の向上を訴えても、効率的、持続的な制度とすると言い、収支差額を判断基準にするとの返答が繰り返されています。

私たちは、税金を悪いことや無駄なところに使わず、すべての国民が健康で文化的に暮らせる福祉の実質を向上させるために使う必要があると訴えます。

世界には、戦争が広がっています。気候変動やパンデミックも、取り分けて弱い立場にいる人を傷付けています。なんか、世界が曲がり角に来ているようで、書くことが多いなあと感じます。ウクライナやガザでの惨劇は、私たちを含めて人類がすべての英知を結集して解決すべき問題です。しかし、日本は平和憲法を持つにも関わらず、どんなに訴えてもこの戦争をやめさせる主体的な役割を担おうとしません。むしろ、わが国も危ないと国民の不安をあおり、あらゆるものを軍備の犠牲にしようとしています。沖縄では美しい海が埋め立てられ、基地建設が進んでいます。反対し座り込んでいるおばあちゃんを沖縄の若い警察官が「排除」しています。

大きな者が小さい者の声を全く聴かなくなっています。

実行委員会は、議論を重ね、交流会のテーマを「人を大切に作る福祉経営とは何か」としました。この時代へのシンプルな立場の表明です。議論の中で東京のみつばち保育園の影田さんが「未来をつくる」という言葉をテーマに入りたいと発言し、サブテーマが決まりました。そして、そういう立場に立って準備すると、「ほんとだよな」と共感する報告や、素直に「すごい」と感じる報告が山のようにあることに気づき、集めたらすごい資料集になりました。私たちがこの時代の中で成し遂げている成果だと確認します。基調報告も講演もシンポジウムもみんなその立場に立っています。ぜひ共有し活用されることを望みます。

私たちには人を大切に作る方向に社会を進歩させる役割があります。

対等平等を基調とした目の前のひとつひとつの実践を大切に、あらゆる人権保障の取り組みに共同し、学びと共同を力にして、仲間を増やし、実現できる力を身につけましょう。信頼と団結の輪を広げ、個と集団の発達が、社会の発達につながるよう努力を続けましょう。

2023年12月8日

第2回全国福祉経営研究交流会 実行委員会一同